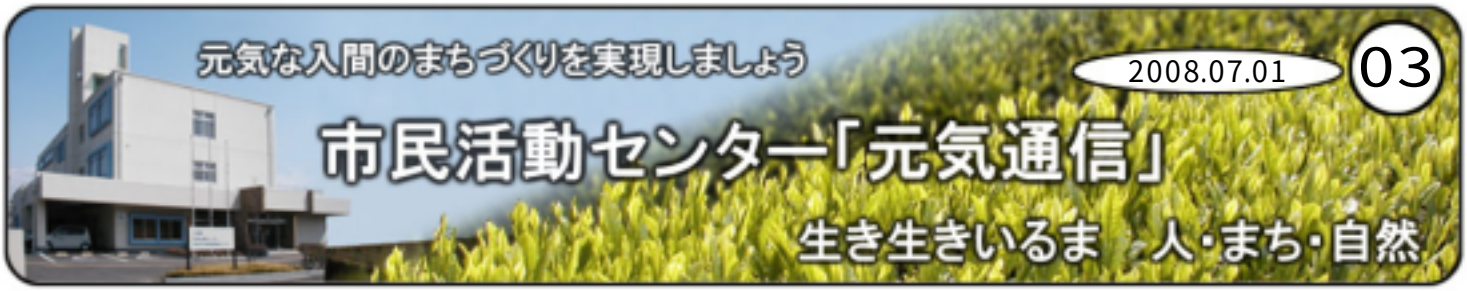


〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2　　TEL/04-2964-2511　FAX/04-2964-2519
E メール/ shimin@ictv.ne.jp　　http://iruma-skc.seesaa.net/

市民活動センターの窓口業務について　一部担当が変わりました

これまで市民活動センターの窓口は、「まちづくりサポートネット元気な入間（まちサポ）」が担当してきましたが、中間支援活動を充実させる目的などから、本年度より、窓口業務の一部を、「入間市社会福祉協議会」が担当することになりました。主な内容は、活動室の予約受付、印刷室・コピー機の利用管理などです。

その他の市民活動に関する相談窓口、情報相談、チラシやポスターの受付・掲示などについては、これまでどおり、まちサポが対応いたします。

なお、まちサポのセンタースタッフの窓口勤務は、原則として平日午後とし、1 時から 5 時までとなります。

村上　横田　根岸　金子　山崎　池田

センターの窓口では、入間市社会福祉協議会の私たちも対応いたします。
まちサポさん同様、宜しくお願いします。

まちサポでは、市民活動センターのより一層の活性化や相談、情報収集・発信など、中間支援組織としての役割や機能の充実に努め、市民活動センターが活動団体の皆様にとって、活動の中心施設になれるよう整備していきたいと考えていますので、今後とも宜しくお願いします。

まちサポのセンタースタッフ

月曜日：大杉

火曜日：佐藤

水曜日：渡部

木曜日：木内

大杉：交流会担当
佐藤：窓口相談サ-ビス担当
渡部：情報・一般相談担当
木内：研修講座担当
金曜日：交代です

市民活動センターでは、団体の活動を広く、皆さんにお知らせするためのコーナーを設けております。

ポスターやチラシがありましたら窓口までお持ち下さい。市民活動センターのホームページへの掲載も同時に行えます。

また、登録団体相互の連絡のために、メールボックスも設置していますので、ご利用ください。

ミーティングルームにある掲示板とチラシ置き場

メールボックス（チラシを投函できます）

市民活動センターではこんなことしています

市民活動センターでは、元気な入間を目指す市民活動団体に対して、以下のような支援活動を行っています。市民活動センターのホームページには、今までの活動状況を掲載していますのでご覧下さい。
また、支援の具体的な内容や協働できる活動提案など、まちサポのセンタースタッフにお訊ね下さい。

1 市民活動をしたいときにひと声掛けて

市内で公益的な活動する団体情報を集めた市民活動団体ガイドブックをつくりました。これから市民活動したいと思っている市民の皆さん、ひと声掛けてください。よいヒントが得られます。
ガイドブック Web 版でインターネットからも団体の情報を閲覧できます。

2 市内活動団体の出会い、交流の場づくり

活動団体間の情報交流を深め、それぞれの活動がより活発になるような出会いの場を企画・運営しています。隣の団体との連携が新たな活動のスタートになります。
すでに、福祉関係の活動団体間では交流が深まり、新たな活動が動き出しています。

3 活動団体のイベント・活動情報を PR

市民活動センターホームページ、ニュースレターに団体活動の情報を掲載しています。また、活動団体メーリングリストによって他団体へ情報提供ができます。ご活用ください。

これから団体への取材等も積極的に行い団体情報の発信を進めていきます。

4 苦手な IT、パソコンの疑問を情報発信お助け隊で解決

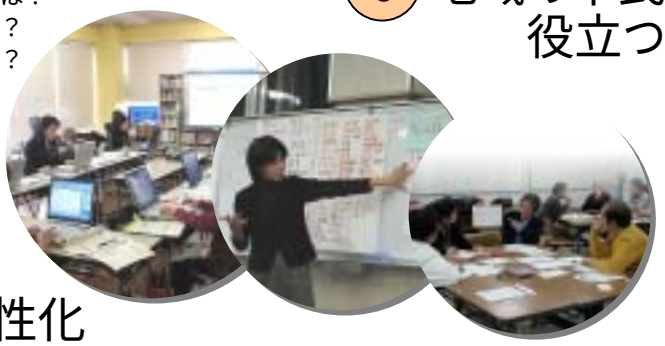
今や市民活動にインターネットは当たり前。でもどうやっていいのか？？？

ホームページやブログの立ち上げ、パソコンソフトの使い方が分からない等々。そんなとき、情報発信お助け隊へ。（要予約）
また、NPO の設立など一般相談も受付します。

5 市民活動をパワーアップするお役立ち講座を開催

寄付はどうやって得られる？
人を集めるチラシのつくり方は？
仲間の活動を活発にするには？
ブログはどうやってつくるの？
などなど。

市民活動を長く続けていく上で出てくる様々な課題にズバリ応える講座を開催。



6 地域の市民活動に役立つ支援活動

中間支援組織として地域の市民および団体の活動を側面から支援するさまざま事業を展開します。活動団体および行政との協働によりそれを実現します。

7 センター活性化

これまで、団体交流会などで市民活動センターの利用団体からセンターを使い易くするための様々なご意見を伺ってきました。これらを踏まえ今後活動センターをより良く使うための具体的なセンター活性化策を活動団体の皆さんと共に考え、それを実現していきます。

団体の底力アップ実践講座 を開催しました

◆第3回 逆説2：8の法則 ・・ 2/17(日) 午後 2:00～5:00

平成１９年度連続講座の第３回目。元気だった活動が停滞気味。会員どうしのコミュニケーション不足を解消し、実働会員 8 割の組織へ変身するコツを学びました。

２割の会員だけが働いて、活動団体を維持しているようなことはありませんか。２：８の法則って、イタリアの経済学者パレート氏の提唱した経験則なんです・・・と、参加者１２名を前にして、庄嶋さんの底力アップ実践講座が始まりました。

２つのテーブルに分かれた前半のワークショップでは 、まず各団体のミッションを３０秒で説明。（ところが、これが結構難しい。）

ミッションは、自分で認識していないと３０秒では語れない、と庄嶋さんは指摘する。

次に、活動者の割合はどれほどか。会員間の情報共有の方法は、などを付箋紙に書きながら説明していきます。

「あれ、そういうやり方あるね」とか、「これやってみたけど、だめだったんですよ」など、模造紙にいろいろな現状が紹介されていきます。

講師：庄嶋　孝広氏

市民や自治体における参加、協働をコーディネートする「市民社会パートナーズ」の代表
「NPO 法人おおた市民活動推進機構」の副代表理事を務めながら、全国のまちづくりに東奔西走しています。
入間市では、協働ガイドライン作成のファシリテーターの他、講師として多方面で活躍。

後半は、入間市内の事例として、文化創造アトリエ･アミーゴを主会場として各種事業を展開しているNPO 法人文化創造ネットワークの川田代表が、団体の紹介をしました。
次いで、庄嶋さんからは、年齢でなく特技（文筆、パソコン、木工、料理など）を尊重して関わることで多くの活動者を確保している事例、ビジョンを明確にし環境の改善ポイントを挙げ一つずつ対処している事例、複数の事業を同時進行で実施する事例、講座やイベントを通じて参加者をボランティアとして育成・活用する事例、など各方面の成功事例紹介がありました。

このような成功事例から、団体活動が停滞気味になった場合には、市民活動団体らしさに立ち返ることが必要であるとの説明がありました。

最後に、団体の実働会員を増やすためのポイントとして、

- 団体のミッションを一言で表現しビジョンを絵に描いて、会員で共有する。（会員が夢を語れる場を持つ）
- 事業や日常の活動において、会員各自が特技を発揮できるように役割分担する。
- 異なるプロジェクト同士が刺激し合えるよう、顔を合せた進捗報告を月 1 回程度行なう。
- 会員（ボランティア）を新たに獲得し、即実践につなげられるような講座を行なう。

などが挙げられます。「さ～　あなたの団体はどれから始めますか？」と、投げかけられました。各団体はその後、どう対処したのでしょうか。

参加者アンケート（抜粋）

- 行き詰った会の運営について、耳は痛かったが参考になった。
- 具体の例が多くて、参考になった。ポイントが分かりやすかった。
- 活動の原点を見直すことが出来たが、自分達の活動に当てはめるのはなかなか難しいと感じた。
- 特別の秘策があるのかと期待が大きすぎたので、ちょっと期待はずれだった。
- 時間が短すぎた。　・もう少し短めにして欲しい。

市民活動センター団体交流会（第２回）を開催しました

３月29日（土）、年度末最後の週末。市民活動センターに35団体53名の登録団体の皆さんにお集まりいただき、平成19年度２回目の団体交流会を開催しました。この日は、サクラも各所で満開で暖かなお花見日和となりました。

新年度より、活動センターの窓口体制の変更になることを自治文化課・大野課長より説明がありました。センターの窓口業務は３年前にも行っていた社会福祉協議会が受継ぐことになったこと。また、いままでその仕事をしてきたまちサポネット元気はまちづくりの中間支援という本来の活動目的に力を入れ、市民活動センターとして市民のまちづくりをサポートすることに力をいれていきます。

まちづくりの中間支援という、ちょっとわかり難い内容について、まちサポネット元気・木内会長より、まちサポの具体的な活動をまとめたリーフレット（P2）を見ながら、参加団体の皆さんにその内容を解説しました。

会場には、窓口の対応が変わることに対して不安を抱いている方もおられたようですが、まちサポのメンバーは引き続き窓口にも居ますし、今まで以上に社協とともに各団体との関係づくりに力をそそいでいくことをお伝えし、ご理解いただきました。

次年度からの市民活動センター運営体制変更の説明の後に、グループに分かれて、交流会となりました。
団体の紹介から始まり、より良いセンター利用に向けてのご意見やアイデア出し、それぞれの取り組みなど多岐に話題が広がっていったグループもありました。

■「入間団塊元気サイト」をお披露目
団塊世代の大量退職などが課題となっていた2007年問題もいろいろ騒がれましたが、実際には数年後に遅れて懸念された状況が顕在化してくるのでしょう。このテーマに、まちサポネット元気では「入間団塊元気サイト」を開設し、団体交流会でその概要をお披露目しました。（P6参照）

■協働ガイドラインについて
市民活動と行政とが「協働」してより良いまちづくりを行っていくことを目的とした協働ガイドラインが、年度末に策定会議から市長へ答申がなされました。さまざまな活動に良い支援となる仕組みが期待されます。
しかし、市としてはこれから内容の詰めに入ること、運用に至るまでには、その内容説明やパブリックコメント、市民へ情報提供や意見を求める場を設けていくことなど、まだ時間が必要なことを自治文化課・西澤さんより説明いただきました。

活動団体紹介

このコーナーでは、市内で活動する団体の皆さんに登場いただき、活動内容やイベント情報の提供をしています。

街づくりの会

代表：武田敏彦　TEL 04-2962-6538
〒358-0006　入間市春日町1-8-3

私たち「街づくりの会」は、入間市内で活動している建築士を中心とした団体です。

メンバーは、住宅や事務所、店舗などの設計を仕事にしているいわばプロの「建築士」です。常日頃から建築設計という業務をとおして、より良い住まいやより良い住環境を実現するために、努力しています。

しかし、我々が関与することのできる単体の建築については、建主さんや我々の力で住みやすい環境を実現することが可能でも、個々の建築の集合体である街や地域全体のより良い環境について考えたとき、我々個人の力が及ばないことが沢山あります。

そこで、より良い環境（つまり住みやすい街づくり）を実現するために、一人では出来なくても、何人かが集まれば出来るのではないか、との思いで作ったのがこの「街づくりの会」です。

私たちの現在の活動は、まだまだ充分とは言えませんが以下のような活動をしています。

第一に、すべてに優先すべきこととして、建築の安全があります。もちろん「姉歯事件」で話題になった偽装問題等は絶対にあってはならないことですから、我々専門家としては今後再発することのないよう厳に戒めて行くことは当然のことです。しかし、より以上に重要なのは、現在建っている住宅や学校、病院等々が地震の際に安全であるかどうかということです。私たちはそのような建築にお住まいの方や所有している方々に、安全性がいかに大切であり、その安全性をチェックすることが非常に重要であることを知ってもらうために、様々な場所で訴えています。

また私たちは、介護保険の住宅改修をお年寄りの方々が利用する際、適正な改修が行われるようお手伝いをしています。

その他にも、建築に関してお困りのことを無料で相談できる建築相談を行っています。

私たちの活動は、今のところ市民の皆さんの間に広く浸透しているとは言えませんが、建築の専門家として入間市の環境をより良くするために今後も努力してゆくつもりです。

防災訓練相談風景

防災訓練説明風景

生活クラブ生協 入間支部 環境部会

（狭山センター）

代表：轟　涼　　TEL 04-2969-4141

生活クラブ生協　入間支部　環境部会は、環境に興味のあるメンバーで構成されていて、おもな活動は、生活クラブで取り組んでいる、環境のことならなんでもです。少人数ですが、毎回楽しく環境の勉強をしたり、イベントの準備、チラシや「かんきょうだより」つくりをしています。

石けん・重曹・クエン酸を使った、環境にも、体にもやさしい「ナチュラルクリーニング講座」を開いたり、ハーブのハンドクリームの作り方を紹介。

大森調整池での「大森の池まつり」へも毎年参加して、美味しい生活クラブのジュースの販売と環境のお話しをしています。

市の「環境展」では、生活クラブの３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）のシステム、グリーンシステムの紹介をしています。昨今、地球温暖化が懸念され、ＣＯ2 削減のため、３Ｒが推奨されていますが、リサイクルはできても、よりＣＯ２削減に有効なリユース・リデュースができていません。びんを洗って何度も使い、卵のケースもリユースしているグリーンシステムはとても優れているのです。他に、遺伝子組み換え食品についての展示や試食をしたこともあります。（生活クラブは非遺伝子組み換えへの対応がとても進んでいて、飼料までも、非遺伝子組み換えです）

市民活動センターでの夏休み親子企画は、昨年は、小学生に科学の扉を開くための「科学環境講座」、今年は、小鳥の巣箱つくりから、環境や生態系に興味を持ってもらおうという「環境講座」を企画しています。

８月２２日（金）１３：００～　３階　活動室１

組合員でなくても、参加できます。是非ご参加ください。

他にも、「かんきょうだより」を発行して、活動の報告やイベントの予告、季節ごとのちょっとしたお掃除のコツ、石けんやシャンプーの使い方などをお知らせしています。

＝ 昨年の科学環境講座の様子
子どもたちは目をキラキラ ＝

センターからのお知らせ

◆ 9/6　第１回団体の底力アップ実践講座

今年の講座のテーマは「共感を得る伝え方」。その第１弾として、ＩＴを活用したコミュニケーション力アップについて学びます。奮ってご参加下さい。

テーマ：ＩＴを活用したコミュニケーション力アップ
日　時：平成２０年９月６日（土）　午後２：３０～５：００
会　場：市民活動センター　活動室１（３階）
講　師：堀池喜一郎氏（NPO シニア SOHO 三鷹）
対　象：市内の活動団体
定　員：50 人
参加費：200 円
申　込：９月１日（金）までに、市民活動センターへ
　　電話か Fax 又は E-mail で。

第２回	9/27	市民活動に役立つセンターづくりＷＳ（団体交流会と同時開催）
第３回	11 月	親しみやすい会報作りのコツ
第４回	12/13	行列のできる講座チラシの作り方（講義）
第５回	12/20	同上（実習）
第６回	２月	交流・連携力アップの方法

第２回以降については詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします。

◆ 9/27　市民活動センター登録団体交流会

登録団体相互の交流、市民活動に役立つセンターづくりについてのワークショップなどの内容で、９/２７(土)の午後を予定しています。詳細は決まり次第、別途お知らせいたします。

■「入間団塊元気サイト」オープン

団塊世代と地域との情報交流を促進するホームページサイトがオープンしました。主な内容は、１００人インタビュー、団塊世代の地域活動、元気モデル、みんな入間人、大丈夫？年金、ブログで見る「いるまのいま」、2007 年問題を検証する、情報リンクコーナー、明日への提言、「あなたの情報が入間を魅力的にしていく」などです。http://www.irumadankai.net
「入間団塊」で検索して下さい。

このホームページは、まちサポネット元気が市との協働事業として企画・運営を行っています。団塊世代に向けた情報の提供や、地域とのかかわりを持つきっかけづくりなど、多くの方に見て、知って、使ってもらえるサイトをめざしています。単なる情報発信だけでなく、双方向の情報交流のため、皆さんからの情報を待っています。

また、**制作スタッフも募集**しています。